

別紙第一  
師團現地自活担任比率表

種別		糧										食					薪炭		馬糧		其他		建築材料		
品目	已令	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給	自給
米	40石	20%																							
麦	60石																								
豆	40石																								
油	10石																								
鹽	10石																								
酒	10石																								
糖	10石																								
茶	10石																								
紙	10石																								
布	10石																								
藥	10石																								
肥料	10石																								
其他																									
薪炭	10石																								
馬糧	10石																								
其他																									
建築材料																									

摘要

師團現地自活担任比率表  
 米 40石 20% 自給  
 麦 60石 自給  
 豆 40石 自給  
 油 10石 自給  
 鹽 10石 自給  
 酒 10石 自給  
 糖 10石 自給  
 茶 10石 自給  
 紙 10石 自給  
 布 10石 自給  
 藥 10石 自給  
 肥料 10石 自給  
 其他 自給  
 薪炭 10石 自給  
 馬糧 10石 自給  
 其他 自給  
 建築材料 自給

各隊兵力ニ依ル  
 兵力ニヨリ生産

農産物並内資源関係現地自治事項

農産物公共重要ヲ蔬菜類ニ指シ併セテ八箇自治区域ニ於テ  
 獲得スルモノ内類ノ漢揚ヲ第一義トシ高禽類ハ之ニ次  
 高禽類ハ部隊ニ於テキスル各種排出物ヲ立クル飼料トシ飼料  
 漢揚ハ別ニ計画スル所ニ在ル飼料不足ハ現地自治ニ依ル  
 其ノ重要施設ヲ法八箇自治区域ニ於テ共同協力セシムルト共ニ自隊兵力  
 ニ依リ解決スルモノトス

方針

- 一 各部隊ハ部隊長ヲ中心トシ以テ盛ナル企圖心ヲ發揮シ農産物ノ生産ハ  
 内資源ノ培養ヲ實施シ急務トシ戰局ニ即應セシムルモノトス
- 二 軍隊自治公農林業ヲ併シ地帯農産物ヲシテシムルコトヲ絶対ニ戒ムルヲ以テ共同組  
 地帯農産物ノ障地附近ヲ利用シ休閑地ノ墾ヲ農園化シ現地生産主義  
 ノ下ニ武ノ現地自治ヲ下テシムルニ在リトス
- 三 師團經理部ハ第一ニ軍団經理部ト連絡シ以テ農務課及仲總務課農業  
 課等ニ連絡シ以テ共同組ノ組織ヲ整頓シ以テ共同組ノ活動ヲ促進ス

四 蔬菜類ハ根菜類ヲ主トシ以テ葉菜類ヲ併シ以テ收穫期ノ短ク且長期間

貯蔵可能ナルモノヲ選定スルニ在リ  
 共同組關係部隊自治實施施設圖並ニ標準

一	共同組ノ組織	各部隊ハ部隊長ヲ中心トシ以テ盛ナル企圖心ヲ發揮シ農産物ノ生産ハ内資源ノ培養ヲ實施シ急務トシ戰局ニ即應セシムルモノトス
二	共同組ノ活動	軍隊自治公農林業ヲ併シ地帯農産物ヲシテシムルコトヲ絶対ニ戒ムルヲ以テ共同組地帯農産物ノ障地附近ヲ利用シ休閑地ノ墾ヲ農園化シ現地生産主義ノ下ニ武ノ現地自治ヲ下テシムルニ在リトス
三	共同組ノ連絡	師團經理部ハ第一ニ軍団經理部ト連絡シ以テ農務課及仲總務課農業課等ニ連絡シ以テ共同組ノ組織ヲ整頓シ以テ共同組ノ活動ヲ促進ス
四	共同組ノ施設	蔬菜類ハ根菜類ヲ主トシ以テ葉菜類ヲ併シ以テ收穫期ノ短ク且長期間貯蔵可能ナルモノヲ選定スルニ在リ
五	共同組ノ標準	共同組關係部隊自治實施施設圖並ニ標準

區分 經理部 各部 隊

單需

牛豚山羊家鴨雞等ヲ飼育シ肉資源ノ培養ヲ實施ス

畜需

直接飼育シ或ハ販上獲置一豚八百名ニ付一頭ヲ担車トシ養豚ヲ早シクニ育量ノ取得量ハ自治担位比率ニ依ル

禽類

二肉製品及私製心製 三仔豚取得ハ黃表淫衣赤之類ニ依ル

飼育

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

漬物

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

甘味品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

荷

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

食品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

食

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

食

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

食

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

食

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

品

三豚以外ノ畜禽類ハ各隊自力解決ニ得ル限度ニ依ル

別紙第一二

要務関係現地自要領

澳撈関係現地目要領

方針

沖繩縣在來、澳撈法ヲ採用シ現地人ヲ利用スルト共ニ兵力ニ依リ極力魚獲ニ努メ肉類給養ノ主体トナラシム

要領

一 臨海部隊ハ勿論臨海ニ非サル各部隊ニ於テモ當防衛地區三方面海ニ周ラセテアル地形ヲ活用シ重油ヲ使用セザル澳法ヲ採用スルモノトス

其ノ澳法ハ遠込網、ぐり船ヲ利用スル釣船及地曳網ヲ以テスニ魚獲波、冬季不適ナルヲ以テ其以外ノ季節ニ於テ極力生食ヲ食ハ膳ニ供セシムルト共ニ冬季及非常時ヲ考慮シ塩干魚、干魚、塩から、等ヲ製造シテシオフモノトス

三 師團經理部ハ其那原 知念村附近ニ於テ魚撈ヲ実施シ

區分	部隊	各部	部隊	
澳	<p>一 澳撈ヲ直轄シ主トシテ其那原 首里山在部隊ニ交付ス、各聯隊等大ナル部隊ニ交付セザルヲ本則トス</p> <p>二 魚肉、加工ヲ実施ス</p> <p>燻製 塩干魚 干魚</p> <p>塩から 鰯 東豆節等</p> <p>三 魚肉、統一交付ヲ実施ス</p> <p>四 各部隊、澳具、配當及澳撈ニ関シ地方機関ト連繫シ各部隊ヲ指導ス</p>	<p>一 各部隊ハ其地區隊ノ統制ニ依リ負傷ノ配當ヲ受フルトヲ得</p> <p>二 各地區隊ハ臨海ヲ活用シ部隊自給ニ徹底スルモノトス</p> <p>三 魚肉、加工ヲ行フト共ニ野藏管理ヲ努メルモノトス</p>		
海草	<p>一 知念村附近海浜ニテ海草ノ採取ヲナスモノトス</p> <p>海もすく 海苔 其他</p> <p>食 塩 苦汁</p> <p>二 海草、佃煮及乾物ヲ製造加工ヲスルモノトス</p>	<p>一同上</p> <p>特ニ簡易製塩ヲ行フモノトス</p>		



被服関係現地自活要領

方針  
被服補修材料ニ重実ヲ指向シ併セテ廢品回収及代用品ヲ製作加工ス  
要領

區分	黒田隊	各部隊	被服倉庫修理班
單寧劑製造	濃度四五%單寧液 液月産七五斗ヲ目途 トシ糶草製造所要 ノ全量ヲ推樹皮ヨリ 採集ス	兵團等備地ニ産 牛皮月産二五枚ヲ單 寧製成ス 本製成ヨリ單寧液 材ヲ用革ノ全量ヲ現 地ヨリ活ス	
牛皮單寧液			
木炭研製	現地産植物ヨリ固形 炭ヲ採集ス		
被服補修	古靴下ヨリ 再生糸採 製	古靴下再生糸ニ依リ各隊 ニ送納ス 古靴下再生糸ニ依リ各隊 ニ送納ス 古靴下再生糸ニ依リ各隊 ニ送納ス	現地産植物ヨリ固形 炭ヲ採集ス
代用品製造	現地産産物ニ依リ 三枚張補修用指環代用品 トシテ使用ス		
品用	不純産物材ヲ以テ 台子糶草糶草糶草糶草 トシテ製作各人 ノ補給ス		
製用下駄			
作	糶草馬ヨリ折レル馬糶草 油ヲ採集スル保革油 代用品研究		
石炭代用品		木炭ヨリアノ汁ヲ 採集シ石炭代用品 トシテ利用	
木炭汁ノ利用			

現地産植物ヨリ固形炭ヲ採集ス

別紙第四二

需品関係現地自治要領

一方針

需品関係現地自治は作戦用需品、糧食、被服、衛生用品、修繕材料、燃料、医薬品、通信材料、教育材料、娯楽材料、その他を要し、これらを現地自治要領に依りて確保し、之を供給するに在り。

二実施要領

各部隊

集積用  
燃料  
木炭

敵上陸時ニ於テ非常炊事  
用トシテ各部隊所要  
三月分ヲ兵力ニ依リテ  
末日迄ニ取得

同上

常備用薪

自隊所要量ニ石炭便  
用ノ分ヲ除クテ、餘量ヲ  
兵力ニ依リテ取得

調類

地方機関ヲ相手ニシテ各部隊  
自隊兵力ニ依リテ取得  
所要量 八〇%

米	地方製造業者ヲシテ 師團所要量 一〇〇%
炭	地方製造業者ヲシテ 師團所要量 一〇〇%
薪	地方製造業者ヲシテ 師團所要量 一〇〇%
...	...

善才斗見也 自治要領

營繕材料現地自治要領

方針

營繕材料ハ其ノ重点ヲ陣地構築用木材ニ指向シ併セテ之ガ製作ヲ実施ス其ノ他營繕ハ必要ニ應ジ材料ヲ得ルニ在リ

要領

- 一 各部隊ハ主トシテ陣地構築用木材ヲ國頭郡東村字川田附近ニ於テ之ヲ採取スルヲ原則トシ其ノ他己ヲ得ザル場合ハ許可ヲ得テ防衛地區内ニ於テ作戦ニ支障ナキ範圍内ニテ縣木社ト協定ノ上自隊兵力ニヨリ伐採ヲ実施スルモトシ部隊直接縣木社ニ支拂スルモトス
- 二 師團經理部ハ國頭郡東村字川田附近ヨリ陣地構築竝ニ建築用木材ヲ兵力又ハ地方勞力ニ依リ伐採シ其ノ原港ニ海上輸送交付スルモトス
- 三 製材ハ當初工兵隊ト担任トシ爾後建築材料ハ經理部ト担任トス其ノ実施方法ハ川田首里古波藏ニ於テノ実施ス
- 四 伐採地ニ於ケル植樹ハ地方民ヲシテ実施セシムルモトス
- 五 煉瓦土管葦藁工品萱疊表等ハ必要ニ應ジ現地自治スルモトス



別紙第五

衛生材料關係現地自治要領

衛生材料

種別

所在区分

各部隊

摘要

器	械	藥	物	消耗品	其他
1. 野戰消毒器 2. 尿器 3. 尿器 4. 氷素釣 5. 膿盤	1. 應用担架 2. 杖 3. 杖 4. 杖 5. 杖	1. 祛痰劑 2. 利尿劑 3. 健胃劑 4. 生理的食塩水 5. リンゲル液 6. 葡萄糖液 7. 蒸溜水	1. 胆汁 2. タミンB劑 3. カーセ 4. 脱脂綿 5. 綸帶	1. 野戰病院 2. 野戰病院 3. 野戰病院 4. 野戰病院 5. 野戰病院 6. 野戰病院 7. 野戰病院 8. 野戰病院 9. 野戰病院 10. 野戰病院	以上、外各野戰病院及各隊必要ノ衛生材料ニシテ試製可能ナルモノハ極力製作ノコト

野戰病院 必要量製作

野戰病院

野戰病院

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用

野戰病院 採取セル生薬ヲ利用



山

原

黄菱考査第二四號

自營用家畜飼育數調查ノ件通牒

昭和十九年十月二十六日

武第一五二部隊

武第一八九部隊中

首題ノ件左記様式ニ據リ毎月月末調ニテ翌月五日迄ニ到着スル如ク獸醫部ニ提出相成度通牒ス

左記

何月分自營家畜増減調査表	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛	乳牛
肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛	肉牛
豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚	豚
仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚	仔豚

19

其	家	山																		
他	鴨	羊																		

黃菱經主發第四十八號

恩給法納金ニ関スル件通牒

昭和十九年十一月四日 武第五七三部隊黒田隊

第一八八九部隊長殿

奉教地ニ於ケル首題恩給法納金ニ関シ若干疑義

下中央部ニ照會中、處從前通納金ヲ要スル旨

回答アリタセシ付承知相成度通牒ス

追而當師團ニ於テハ七月以降納金免除シアゲルヲ

以テ七月ニ遡リ納金整理セラレ度申添フ



德

黃英園經理...

野戰司令部...

昭和十九年十月...

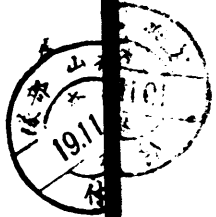
球券之...

爾今...

一般補給業務...

進而上...

自...





山形県立  
第一  
女子  
高等  
学校  
職員  
名簿

黄菱経衣發第166號

交付件通牒

山形県立第一女子高等学校



註

- 一 勤績三年以上ノ職員トハ職員ヲ三年以上勤績、モノヲ謂フ
- 二 工員備入ハ男女ノ區合ヲ明記スルコト

黄菱経衣發第166號

entire page

三 交付予定数

部隊名	人数
1515	10
1524R	15
1524I	37
1524II	30
1524III	25
1525R	9
1525I	32
1525II	31
1525III	37
1530	24
1533I	24
1533II	24
1533III	43
1541R	6
1541I	14
1541II	16
1541III	21
1549	20
1560	9
1564	14
1565	4
1577	8
1582	5
1586	5
1589	14
6463	7
1587	11
1589	8
1587	7
1587	7
計	500

四 部隊ノ特性上飼育ヲ困難トスル向ハ其ノ旨速ニ  
 通報ノフト  
 五 券ニ回交付ヲ年以ニ實施スル予定ニ付現在飼  
 育数及將來ノ希望飼育数ヲ折返シ通報ノフト

交付ノ件通牒  
 行五七三部隊黒田隊長  
 長殿  
 依リ交付(券一回)スルマ  
 一様ス

五ロノ頭  
十月初旬





黄菱経衣發券一六六號  
 現地自活用成豚交付ノ件通牒  
 昭和十九年十月二十八日 武部二五七三部隊黒田隊長  
 球券一ノ九 部隊長殿

首題ノ件ニ関シ左記ニ依リ交付(第一回)スル予  
 定ニ付準備相成度通牒ス

- 一 交付總額数 左記  
 二 交付予定日 一五〇〇頭  
 三 交付予定数 十月初旬

部隊名	頭数
1515	10
1524R	15
1524I	37
1524II	30
1524III	25
1525R	8
1525I	32
1525II	31
1525III	37
1533I	24
1533II	24
1533III	43
1541R	6
1541I	14
1541II	16
1541III	21
1549	20
1560	9
1564	12
1568	4
1537	4
1552	5
1556	5
1549	5
2152	15
6603	9
1547	11
1559	8
1577	9
1577	5
計	520

- 四 部隊ノ特性上飼育ヲ困難トスル向ハ其ノ旨速ニ  
 通報ノコト  
 五 券二回交付ヲ年内ニ實施スル予定ニ付現在飼  
 育数及將來ノ希望飼育数ヲ折返シ通報ノコト



昭和十九年十月廿八日  
武第一五七三部隊黒由隊  
黄野崎 水 發 表 長 殿

首 領 部 長 殿  
武 第 一 五 七 三 部 隊 黒 由 隊  
黄 野 崎 水 發 表 長 殿

黄野崎 水 發 表 長 殿

(七)

經戰訓其他ノ資料調査ニ関スル件通牒

昭和十九年十月廿八日

武第一五七三部隊黒由隊



件 武第一五七三部隊長殿

今次南西諸島空襲ノ經驗ニ鑑ミ左記事項ヲ調査スル  
十一月五日迄ニ當部ニ通報相成度

- 一 經戰訓ニ掲ケル資料ニシテ特ニ今次ノ空襲ニ際シ經理業  
務上ノ施設補給給養ニ関シ全軍ニ普及及徹底ヲ要スルト  
認メラル所感希望意見等
- 二 經理部將校以下ノ適切ナル處置ニ依リ特ニ被害ヲ免レ  
シ等之ヲ表彰スルニ足ルヘキ事例等

①

黄菱後第二五號疏後第一三號

荷馬車修理及新造ニ對スル協力ノ件通牒

昭和九年十月二十七日

武第五七三部隊參謀長

②

球第六〇九部隊長殿

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ如ク通牒アリタルニ付各部  
隊ニ於テ極力之ガ協力相成度通牒ス

配布區分 諒指揮下

各部

團陽四

19.10

別紙寫

荷馬車修理及新造ニ對シ協力相成度件

昭和十九年十月二十五日 秣第一六六部隊參謀長

首題件ニ關シ軍ニ於テ縣及縣衙馬車組合ニ對シ荷馬車修理及新造ヲ要求スルト共ニ資材ノ斡旋ヲナシテ先所遺留ノ空襲ニヨリ其ノ主施設地域ノ燒失ニヨリ傾倒スルニ付各兵團ニ於テモ其ノ管内ノ馬車組合ヲ支授資材ノ斡旋等協力相成度尙藏府等所要資材中不足分軍ニ於テ收集シテ付

事務連絡

キハ(キハ)調書提出期日変更ノ件連絡

昭和十九年十月六日

宮本主計士附

化

件 殿

黄菱經衣發第一八號並第一三五號ヲ以テ彙ニ通牒セシ前題ノ件ニ關シ爾今補給ノ關係上十月十日調書以テ十五日迄ニ必ス當部ニ到着スル如ク提出相成度連絡ス追而中間異動ノ際ハ増減ニ拘ラズ至急通報相成度

軍令

黃美經度發六九第

製菓菓兵派遣二周又ル件通牒

昭和九年十月廿日

第五二部隊參謀長

球第七八九部隊長殿

首題 舞臺左記 依命通牒

七三ノレ度依命通牒又

首題ノ左記 記回答

一、製菓連部隊 第五二部隊黒田殿

二、派遣期日 十月廿六日(又食) 第五二部隊給長

三、派遣人員 櫻井高次

四、服作 櫻井高次

五、早装(羽布) 櫻井高次

六、爲補給 櫻井高次

七、爲補給 櫻井高次

八、爲補給 櫻井高次

九、爲補給 櫻井高次

十、爲補給 櫻井高次

十一、爲補給 櫻井高次

十二、爲補給 櫻井高次

十三、爲補給 櫻井高次

十四、爲補給 櫻井高次

十五、爲補給 櫻井高次

十六、爲補給 櫻井高次

十七、爲補給 櫻井高次

訓  
訓

訓

早業(名)...

三本業人員  
十月...

一、...

...

...

...

黄英経度教第七五號

經理月報(九月)令質疑希望(件)回答

昭和十九年十月三十日

武(一)五三部隊...



休

九部隊御中

首題の件左記の通回答

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

毛靴下部隊ニ於テ膝  
 當等ニ使用スルモ差支  
 上靴代用草履ヲ補給ス  
 此如ク取計度  
 成度希望ス  
 編上靴ハ化學戰ニ備ヘ  
 愛惜シ努メテ他ハ地下  
 足袋ヲ使用シテアリシモ  
 爾今銀奉少地ニ足袋ハ  
 要修理品ニ對スル補修  
 材料支給サレルヤ  
 (五三三號)

差支ナキモ使用ノ部  
 度其員數ヲ承認受ラ  
 當分補給ノ見込ナシ  
 死亡者アリタル都度  
 通牒アリ度即刻交付  
 地下足袋修理材料ハ  
 一部合同修理場ニ交  
 付シテリ尚補修材料  
 再製ニ就テ合同修  
 理場ヲ指導ス

棉袴袴下ノ個人修理用  
 當布補給相成度  
 (五三三號)

自下補給品無シ當布使  
 用ノ修理品ハ合同修理  
 場ニ提出サレ度

所毒被服手入材料ノク  
 其他埋立補修材料賣買  
 事補給相成  
 九月二十九日經理美打  
 合會同ニ於テ此項賣買  
 補給部隊ニ下駄ハ補  
 給ス其在リル如ク見  
 貴隊ニハ補給品ナシ  
 (五三三號)

現在在庫皆無ナリ現  
 隊ニ補給請未ス  
 本年七月部廟部奉  
 本製品市場向部隊  
 補給品ニハ補給品ナシ

大隊長  
 補給部  
 經理  
 美打

鐵線入補給セラルル、定ナリ

砲手彈丸裝填用用手袋

補給セラルル

修理材料(甲縫糸空針靴紐)

及深業油約六、補給現成

患着川被吸洗濯用石鹼多

量補給相成度

地下足袋亦トシ糸針等補修

品襪草履衛生帶胸章補給相

砲手對ルル手袋ノ定  
度ナキニ付補給セズ  
密針ハナリ四日黄菱經衣等  
第一五四第ニテ補給増ナリ  
其ノ他ハ近ク補給ス  
所要量明記ノ上請求書提出  
アリ度  
木綿糸ハ木綿糸再生機利用依  
自活セラレ度  
其他ハ請求書提出アリ度

現成ニ在リ

五、補給相成度(十五、四、五)

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

各機關ノ定ニ接衛ニ提出ナリ

現成ニ在リ

五、補給相成度(十五、四、五)

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度

補給相成度